

様式第1号

令和元年7月6日

議会とかたる会実施報告書

小諸市議会報告会運営委員長 様

議会とかたる会 1班

班長 田中寿光

印



私の班は、下記のとおり議会とかたる会を開催しましたので、ご報告します。

記

1 開催日時 令和元年7月6日(月) 13時30分～15時30分

2 開催場所 市民交流センター(中央地区)

3 出席議員 全体で14人

内訳：1班：9名、(田中、福島、小林重、山浦、丸山、田辺、小林一、掛川、土屋 各議員)

議長、2班：相原、神津、早川、楚山、各議員

4 参加人数 24人

5 報告内容への質疑・意見・要望・応答 要旨

(1) 市政に関すること

項目	参加者質疑・意見・要望	議会回答
複合型施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・④の(株)ツルヤ以外のテナントはどのような状況か。 ・テナント候補として何社手を挙げているか。 ・なぜ他社に声をかけなかったのか。 ・⑥の靴店、衣料品店などの個店について、どういう方向になるのか、また、(株)ツルヤとの協定の中に踏まえているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2F の商業スペースには全て(株)ツルヤが入る。 ・土地の所有者が(株)ツルヤであったので。 ・(株)ツルヤだけで協定を結び他には声をかけていない。 ・(株)ツルヤは地権者でもある。民間のスーパーと市が共同した結果、今の計画になったと承知している。 ・フロアは全て(株)ツルヤで、入る・入らないは、これから検討になる。

(2) 議会に関すること

項目	参加者質疑・意見・要望	議会回答
テーマの資料について (議員報酬)	<ul style="list-style-type: none"> ・議員報酬の月額だけでなく、年収の表示を、また、他の市の状況を知りたい。 ・議員報酬が他市町村と比べ小諸市はどうなのか、資料不足で議論ができない。 ・要求があった以上調べて後で公表したらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は資料を用意していない。年収は554万円位です。 ・小諸市は平均より低い、また、定数はほぼ平均というイメージでいる。今日は提示してある資料をお願いしたい。 ・どのような形で提示できるか検討させていただきたい。 (グループワークの発表後に、資料を配布して説明を行い、了承いただいた)

6 意見交換の内容 要旨

現状と課題	解決策
<p>○議員活動の見える化と議員のスキルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員の仕事が見えない。 ・市民の目に見えるような活動を。 ・議会が開かれていないとき、議員は何をやっているのか。 ・ボランティア活動をしているといつても議員報酬を得ての話ではないか。 ・議員の魅力がない。 ・議員の資質を問う。 一般質問に提案や提言がない。 	<p>○市民に信頼される議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員はもっと勉強して資質を磨け。 ・しっかりと提案・提言ができるように。 ・大切な税金を無駄なく適正に使える人が議員に選ばれるべき。
○議員定数はこれでいいのか。	
・県内他市(諏訪市)と比較して多いのではないか。	

<p>いか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小諸市は、議員定数が多いだけではないか。多いことの効果が何かあるのか。 	
<p>○市民の関心度、監視力が低い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このような会議には市民がもっと関心を寄せて参加すべき。そのような状況でないことが関心の低さを示している。 ・この会議も何もたたき台がない中で市民に議論しろと言っても無理がある。 	<p>○子供たちの教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども議会を開催する。 ・「議員ってどんな仕事？」か 子供たちが理解できるように示す。示すことができるよう活動する。
<p>○議員・議会の役割を意識する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員と行政との懇談会は必要ないのではないか。なれ合いの温床になる。 	
<p>○報酬と仕事量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員の仕事がわからない。365 日のうちどのくらい仕事があるのか。 ・実質的に拘束される日数は何日か ・月ごとの仕事を市民に話せないか。一般質問だけではなく。 ・議員に賞与はいらないのでは。 ・資料不足で議論できない。 	<p>○議員が生活でき、家族を養うことができる報酬を与える。</p> <p>○報酬は少なくとも議員定数を増やし、働きながら議員活動ができる仕組みとする。</p>
<p>○信頼される議員・議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市を守るといった使命感が見られない。 ・報酬の問題ではない、本人の意識、自覚が欠けている。 ・各議員が議員としての自覚をもってもらいたい。 ・もっとレベルの高い議論で盛り上げてほしい。 ・重箱の隅を突つつくような質問が見受けられる。 	<p>○夜間議会を検討する。</p> <p>○自治体本来の役割を考えるとき。可能な限り そうした機会を多く持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方自治を世界的な歴史の中から学ぶための機会を持つ。
<p>○選挙にはいくらお金がかかるかわからない。公費負担はあるのか。</p>	<p>○全力を尽くしてほしい。必死の努力を尽くしてほしい。</p>
<p>○定数減について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員を減らせばよいということではない。市のために働いてもらつていれば市民は納得する。 ・議員定数を減らす ・議員定数を少なくする。 ・人口に比べて議員数が多い。 	

<p>○女性を議会に送り出すことが大事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性議員を増やすことで解決できることもある 	<p>○女性が多く立候補できる対策をダイナミックに進める。</p>
<p>○市民の議会に対する関心の低さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票率が低いのは有権者が市議会に興味がないからではないか。 ・議会に対して好奇心が持てない。 	<p>○市民の関心を高めるには</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会の重要性について市民を再教育する。 ・議会は民主主義の根幹である。(三権分立) ・自分のまちをどうするかを考える。 ・住民意識、自治意識を高める。学校、社会教育において ・できるだけ議会を傍聴して、一体感を高める。
<p>○若くて仕事ができる魅力ある人に立候補してもらいたい。</p> <p>○年代ごとに立候補しづらい現状がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人が出づらい。 	<p>○若い人達が議員に立ちたいと思えるような勉強会などを開催し、議員のなり手を育っていくのも議員の大事な仕事</p>
<p>○無投票選挙について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな人が議員になったのか、どんな公約を持っているのかわからない。 ・議員は1票も得ないで当選した。 	<p>○無投票はやめてほしい。定員同数であろうと選挙を実施して結果を出すことが大事</p>
<p>○議員の資質・議論できる資質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲のみでは市民は不安。そのために選挙がある。無投票は危険。 ・無意味な議論がされない議会でありたい。議員の仕事を再認識したい。 ・本当に必要な議論をしているのか。揚げ足取りをしているのか、必要な質問なのかを考えると面倒。 	<p>○議員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定数減も考える。無投票回避のため。 ・行政と市民が高まってほしい。(市民も含め) ・議会や議員について学べるような塾があつてほしい。 ・やる気がある人と出会う場を ・多方面から推薦された人がディベート会を行い、そこで議員を決定する。選挙なし。
<p>○立候補するために仕事を辞めるリスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立候補した場合の現状への生活に及ぼすリスクの程度がわからない。 ・仕事を辞めてまでも議員になったとしても4年に1度選挙を経なければならぬので収入の保証がなくリスクが大きい。 ・自分にできるのか、どこで学べばよいのか、仕事と両立できるのかわかつていない。 ・兼業(農業、自営業)の人はできるかもしれないが、サラリーマンはやめてまでできない。 ・若い人が働く場が少くなり、あったとしても都市部と比べて低賃金。 <p>自分が生きることに精いっぱいで、政治に</p>	<p>○現職議員が後継者を育てる。仲間を育てるのも議員の仕事。</p> <p>○供託金をもっと低額に</p> <p>○夜間議会の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事を持つ若い人が議員をやるために、夜間、休日議会を開くといい。

<p>は無関心とならざるを得ない。</p> <p>○高齢者がいつまでも議員をやっている。若い人を育てる気がない。</p>	
<p>○仕事に見合えばよい報酬</p> <p>○議会活動が見えない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何をやっているのか市民に見えない。 ・市民のために目に見える仕事をしてほしい。 ・理解できるような報告を。報告の仕方が悪い。 ・市の将来性が不透明でやる気にもならない。 	<p>○もつといろんな手段で議会活動を知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット中継 ・議会の様子をテレビや、議会報告で見られない人もいるので告知の方法を考えてほしい。 ・もっと読みたくなる議会だよりを工夫してほしい。
<p>○選挙・無投票について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙費用がどの位かかるかわからない。 ・投票率が悪いのは有権者が市議会に興味がないから。 ・無投票では各議員の公約がわからない。 ・若い人が立候補しにくい現状がある。(次の保証はない。仕事を辞めなければいけない) ・若くて仕事が出来る人に立候補してもらいたい。 ・議会を傍聴して一体感を持つことが大事。 ・議員は1票も市民の票を得ないで当選している。 	<p>○選挙無投票について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性が多く立候補できる対策をダイナミックに進める。 ・自治体本来の役割を考え、可能な限り多くの議論をすべきである。 ・地方自治の歴史から学ぶための機会をつくり方向性を出していく。女性も多くの参加を。 ・若い人が立候補したいと思えるよう勉強会を開く。 ・議員が勉強して市民の中から議員になりたい人を育てる。 ・夜間議会開催の研究を
<p>○議員報酬について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員に賞与はいらない。 ・議員の仕事の内容がわからない。活動日数や拘束される日数など具体的に知りたい。 	<p>○議員報酬について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族を養えるように報酬を上げる。 ・報酬を少なくして定数を増やす。
<p>○議員定数について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のために働いていれば議員は多くても市民は納得する。 ・人口に対して議員が多いと思う。 	<p>○議員定数について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬を少なくして定数を増やす。 ・定数は減らす。 ・女性議員を増やす。
<p>○議会・議員活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重箱のスミを突ついている議員の質問が受けられる。 ・自覚や意識に欠けている議員がいる。 ・月ごとの仕事を市民に知らせてほしい。 	<p>○議会・議員活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員は勉強をし、必死の努力をして全力を尽くしてほしい。 ・各議員がもっと自覚を持つ。 ・信頼される議員・議会であれば市を守るといった使命感が見られるのではないか。 ・もっとレベルの高い議論で盛り上げる。

<p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会の重要性について市民への周知。 ・議会は民主主義の根幹である。三権分立 ・政治に関する関心の持ち方、まちをどうするか考える機会を設けてほしい。 ・多くの市民が参加して協働のまちづくりを。 	<p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立候補者が定数内であっても投票を行い、結果をだしていくことも大事だ ・学校教育や社会教育で住民意識・自治意識を高める。
<p>○仕事をやめるリスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立候補した場合、今の生活への影響リスクがわからない ・サラリーマンをやめてまでできない 	<p>○供託金を安く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行30万円の供託金を下げる
<p>○議会活動が見えない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会・議員活動何をやっているのか、市民に見えない ・市民のために、目に見える良い仕事をしてほしい ・理解できるような報告を、報告の仕方が悪い 	<p>○夜間休日議会の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事を持つ若い人が議員をやるために夜間休日議会の開催 <p>○議員の資質向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定数減を考える ・議員の力量向上を図る
<p>○報酬</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事に見合えば良い報酬です 	<p>○能力(資質)向上の手段を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会・議員の仕事を学べるような塾があつたらよい ・やる気のある人との場を提供したらどうか
<p>○高齢者ばかり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がいつまでも議員をやっている ・若い人を育てる気がない 	<p>○現職議員が後継者を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立候補する仲間を育てるのも議員の仕事の一つとしてとらえる
<p>○議員・議論の資質・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲のみで立候補されたら不安である ・無意味な議論がされない議会でありたい ・議員の仕事を再認識したい ・本当に必要な議論をしているのか。揚げ足取りとかしているかと考えると面倒。 	<p>○もっと色々な(インターネットなど)手段で議会活動を知らせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビや議会報告で見れない人がいるので告知方法を考えてほしい。 ・もっと読みやすくなる議会だよりを工夫して作ってほしい

7 地域課題や回答保留の質問・意見と回答 要旨(持ち帰って検討しますと回答したもの)

(1) 市政にすること

項目	参加者質疑・意見・要望	議会回答
不登校	県下でもトップクラスになっている。どのように対応すべきか、行政、議会双方で考えなければならない。	行政・議会でも対策をしているが、まだ不足している。
意見として	・若い人にでてもらうために、議会の活動時間は公務として保証するよう、企業に求めていただきたい。 【主体は行政(選管)か議会なのか】	検討する。

(2) 議会に関するこ

項目	参加者質疑・意見・要望	議会回答
議員報酬	サラリーマンより拘束時間は短い報酬に見合った仕事をしているのか。議員一人一人が示す必要がある。	今後も検討していく。
若者の立候補	議会活動は公務であるという制度を企業に求める。	今後の検討課題である。
・不登校について	・小諸市は不登校の問題が県下でもトップクラス。主任児童委員会でも議論しているが、議会でも進めいただきたい。	・ご意見として受けたまわります。 不登校の関係では各議員でも何回か質問をしているが、まだまだ不足していると感じている。
・介護保険について	・病気にならない取り組みは市でも行っているが、一番関わっているのは区である。区の取り組みをやってもらうために、議員報酬を半分にして区長手当を上げる議論をしてほしい。	・ご意見として受けたまわります。 介護保険の関係は介護制度を含めて取り組んで参りたい。
・市長からの申し入れについて	・一般質問のあり方について、行政側からの申し入れは、どんな内容か。 意見 そういうことを行政側から言われないような議会にしてほしい。	・市民に分かりやすい答弁をしたいので一般質問の通告は具体的に明確な内容でということです。 ご意見として承ります。
・議員活動について	意見 ・定例会以外の議員活動の中身が見えない。議論するためにもその辺を示していただきたい。	・検討していく。

8 次回かかる会に向けた改善点

(1) 報告会準備について

回覧について全戸配布の検討をしてもらいたい。

各会場の集合は45分前でどうか。

交流センター会場について、2室の確保が必要ではないか。

(2) 当日の運営について

良好だった。

(3) 議会報告について

良好だった。

(4) 意見交換について

問題は無かった。

(5) 参加者について

参加人数の増加策を検討してもらいたい。

(6) 開催時期・時間について

開催時期に問題は無い。

開催時間は夜のみでいいのではないか。検討してもらいたい。